

2022年度第1回中央大学研究クラスター形成支援 に関する募集要項

1. 趣旨

本制度は、将来的に本学の特色となりうる研究に成長するための萌芽的な取り組みを対象として、中長期基本計画に掲げる外部資金獲得に資するため、特徴的研究テーマに基づく学際的研究クラスター（以下「研究クラスター」という。）形成を支援することを目的として、研究戦略会議の下に設けられた制度です。

これにより、優れた学際的学術研究を格段に発展させるとともに、学際融合の推進による研究力の強化を図ります。

2. 募集の概要

助成対象 研究	将来的に本学の特色となりうる学際的研究かつ学際的研究を通じ外部資金獲得を目指す研究
募集形態	<p>①研究シーズ形成支援 本学における学際的研究拠点形成に資する競争的資金獲得を目指す学内研究シーズ育成を支援し、実際の申請推進を目的とする。</p> <p>例:「新技術のもたらす未来についての社会学的、哲学・倫理的、経済学的研究」、「社会の分断・両極化に関する文理融合的研究」など</p> <p>②産学官連携機関間交流支援 産学官連携を推進し、外部資金獲得を目的とする。</p> <p>例:「地域社会のステークホルダーを巻き込んだ社会課題解決型研究」、「政策決定に資する調査型研究、国際機関や海外大学との連携型研究」など</p> <p>③研究成果発信支援 学術シンポジウムなどの開催を通じて、学内における学際的研究の取り組み状況や成果の発信を支援し、学术界のみならず社会一般に本学の活動や成果をアピールするとともに、新たな競争的資金、外部資金獲得につなげることを目的とする。</p>
対象者	<p>①代表者及び分担者からなる研究クラスターの構成員が3名以上であり、代表者は本学専任教員であること。本学所属の構成員が2名以上含まれること。</p> <p>②③代表者が本学専任教員であること。また、代表者として本学の他の専任教員、他大学の教員、研究者、企業等と研究チームを構成していること。</p> <p>①、②、③のいずれも、その研究活動及び成果が、本学に帰属するものであること。</p>

助成期間	①②2022 年度中の研究開始日から1年間を対象とする。 ③2022 年度中に実施する研究成果発信を対象とする。
助成金	原則として、申請1件につき 500 万円を上限として助成する。 (審査結果に基づき申請金額が減額されて採択されることがある。また、同時に複数形態に申請している場合は、1 形態のみ採択の場合がある。)
申請書 配布場所	研究推進支援本部のホームページからダウンロードしてください。 https://www.chuo-u.ac.jp/research/rd/support/
受付期限 または 申請期限	申請期限: 第1回2022年5月31日(火) ※上記も含め年4回申請期限を設ける予定です。 ※学外からの要請により締切日前に申請の必要がある場合は、随時ご相談ください。 ※採択された計画の申請額が、2022 年度の募集額に達した時点で、募集を終了します。 ※第2回目以降の募集要項は改めてご案内します。
申請手続	「2022 年度中央大学研究クラスター計画書」を作成し、受付期限までにメール添付で提出してください。 研究支援室: e-mail: gakusai-grp@g.chuo-u.ac.jp
選考方法	提出された「研究クラスター計画書」に基づき、審査委員会での審査を行います。
採択決定	採択決定は、申請後1ヵ月の予定で、申請者には文書により通知します。

※学際的研究：複数の学問領域の間を融合して、学問横断的に進めていく研究

3. 採択決定後の助成対象者(研究代表者)の義務について

代表者は、助成期間終了後（助成期間が複数年度に渡る場合は、各年度終了後とする。）一カ月以内に実績報告書を審査委員会に提出してください。報告書には、①研究シーズ形成、②産学官連携機関間交流、③研究情報発信それぞれの活動を通じて達成された成果（競争的資金へ申請した、受託研究に向けて交渉中など）を具体的に記載してください。提出された実績報告書については、審査委員会の意見を付して研究戦略会議にて報告された後、本学 web 上で公開する予定です。また、助成期間後に研究成果を大学内外にアピールする報告会を行う予定です。

研究クラスター形成支援 FAQ

1. 申請に関して

■ 申請の制限について

1研究クラスターが同時に複数形態に申請すること、また年間で複数回申請することについては、制限を設けませんが、可能な限り多くの研究クラスターに本制度が活用されることを期待しています。

■ 学内研究費との重複について

本制度は、(1)年間を通して募集を行い、研究活動の開始時期に関わらず、支援が行えること、(2)研究者個人ではなく、学際的かつチーム型の研究であること、(3)外部資金獲得を目指す研究であることの3点が特徴であり、これら3点を兼ね備えた研究費制度は他にありません。したがって、他の研究費制度との重複はこれを妨げるものではありません。

■ チーム構成について

「①研究シーズ形成支援」の対象者は、「代表者及び分担者からなる研究クラスターの構成員が3名以上であり、代表者は本学専任教員であること」としていますが、本学の特色ある研究かつ研究拠点の形成を目的とした募集形態であることから、本学の構成員が2名以上参加する提案内容とします。

2. 審査に関して

■ 審査の観点について

学際的研究であること、以下のとおり形態ごとに本助成制度の趣旨に合致しているかが審査のポイントとなります。

① 研究クラスター形成支援

研究期間終了時に研究計画書に示した通りの研究拠点形成に資する外部競争的資金への申請につながる内容となっているか。

② 産学官連携機関間交流支援

企業等外部機関との産学官連携を通じ、外部資金獲得が狙える申請であるか。

③ 研究成果発信支援

本学の強みを見せるコンテンツであるか。イベント対象者に対しての効果的なアウトリーチとなる企画であるか、また外部資金獲得が狙える申請であるか。

■ 提出書類の不備について

申請期限を過ぎたもの、提出書類に不備がある場合は、一切受け付けません。

■ 審査方法について

提出された計画書をもとに、審査委員会において合議により審査を行います。なお、計画書の内容について不明な点や詳細の確認を要する場合には、審査委員会が質問票を作成し、原則書面による回答を求めます。また、必要な場合にはヒアリングを行うことがあります。

■ 審査結果について

『中央大学研究クラスター形成支援実施要領』に基づき、審査委員会の議を経て、研究戦略会議へ報告します。

3. 経費の執行に関して

■ 研究費の用途について

本助成制度は研究クラスターの取り組みに関わる直接的な費用を助成することを前提としています。

■ 研究費の執行について

「研究クラスター形成支援」のルールに基づきます。詳細はお問い合わせください。

※2022年度分と2023年度分の予算を個別に計画書に記入いただきますが、2022年度分の予算執行は3月上旬に締め切られる旨ご留意ください。

■ 研究計画変更願について

重要な計画変更がある場合には、審査委員会に報告する必要があります。

■ 謝礼金について

研究クラスター構成員に対する謝礼金の支出はできません。研究クラスター構成員以外への謝礼金の支出は、本学の支出基準に基づき、支払うことができます。

以上